

**CASBEE 柏2014年版**  
 (仮称)株式会社光陽メディア 沼南工場 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE 柏2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE 柏2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>					<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.2</b>	0.15					<b>2.2</b>
1.1 騒音		1.0	0.40					
1.2 遮音		<b>2.6</b>	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0				
2 界壁遮音性能		2.0	0.40	3.0				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0				
1.3 吸音	印刷室、製本加工室の天井、壁はグラスウール張りとし反射音の低減を	<b>4.0</b>	0.20	<b>3.0</b>				
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35					<b>3.0</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50					
1 室温		3.0	0.38	3.0				
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>				
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>				
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.3</b>	0.25					<b>2.3</b>
3.1 昼光利用		<b>1.8</b>	0.30					
1 屋光率		1.0	0.60	3.0				
2 方位別開口				3.0				
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0				
3.2 グレア対策		<b>2.0</b>	0.30					
1 屋光制御		2.0	1.00	3.0				
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>				
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>				
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25					<b>3.6</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50					
1 化学汚染物質	ホルムアルデヒドを含まない建材を極力採用	5.0	1.00	3.0				
2 アスベスト対策								
4.2 換気		<b>2.3</b>	0.30					
1 換気量		3.0	0.33	3.0				
2 自然換気性能		1.0	0.33	3.0				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0				
4.3 運用管理		<b>2.0</b>	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50					
2 喫煙の制御		3.0	0.50					
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.9</b>	0.40					<b>2.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40					
1 広さ・収納性	作業及び執務関係の規模32㎡/人	5.0	0.33	3.0				
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0				
3 バリアフリー計画		1.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		<b>2.3</b>	0.30					
1 広さ感・景観		1.0	0.33	3.0				
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33					
3 内装計画		3.0	0.33					
1.3 維持管理		<b>3.5</b>	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	屋外鉄部は溶融亜鉛メッキを採用	3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	各階のユーティリティエリアに掃除用具入れを設置	4.0	0.50					
3 衛生管理業務								
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30					<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.2</b>	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	ガルバリウム鋼板耐用年数 約30年	4.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.1	0.30	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高5.0~6.0m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		生産・物流に係る床は構造床とし耐荷重1t以上	5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.0	-	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.83	3.0	0.63	-	-	3.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		ほとんどの仕上材料の設置は躯体へ乾式による取付を行っている	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	